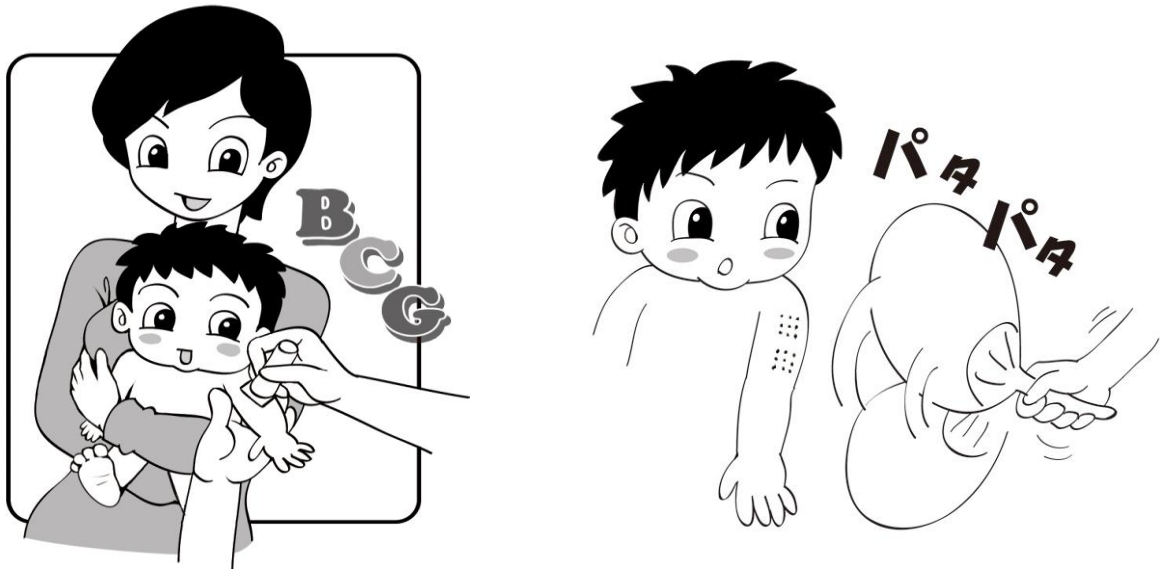


“BCG”が個別接種になりました！

★BCGは結核の予防接種です。 結核は、結核菌が人から人へ感染する病気です。わが国の結核患者はかなり減少していますが、まだ毎年3万人くらい発生しています。大人から子どもに感染することも少なくありません。特に、乳幼児の場合、抵抗力が弱いので重症になりやすく、亡くなったり、重い後遺症を残すことがあります。

★2008年4月からBCGは、集団接種から個別接種へ移行しました。 生後3ヶ月から5ヶ月(6ヶ月になる前)に接種します。

★BCGは、ウシ型結核菌を弱毒化してつくった生ワクチンです。接種方法は、スタンプ方式で左上腕部外側に2箇所押し付けて接種します。接種したところは、日陰で10分程度乾燥させてください。接種当日の入浴はかまいませんが、こすらないようにしましょう。



★BCGの自然経過は、10日くらいから接種したところが赤いぽつぽつになり、一部に小さな膿ができることもあります。この反応は、4週間がくらいにピークとなり、その後はかさぶたができ、3ヶ月くらいで治ってきます。これは異常ではなくBCGにより免疫ができた証拠です。程度がひどくなるときは医師に相談してください。

★BCGの副反応は、わきの下のリンパ腺がはれたりすることがあります。普通は6ヶ月くらいでよくなりますが、時に化膿したり、やぶれて膿が出たりすることがあります。必ずかかりつけ医を受診しましょう。

★コッホ現象： BCG接種後3日以内に、接種部位に発赤・腫れ・針あとの化膿などを認めることをコッホ現象といいます。この場合は、結核に感染している可能性がありますので速やかにかかりつけ医を受診してください。